

カラダもココロも健康に

いきいきらしいふ

no.92
2026.SUMMER

徳大病院だより

特集

救命と社会復帰

患者さんの生きる、をサポートします！

■CLOSE UP

ゲノム医療センターについて

■徳大病院ニュース

- ・令和8年度全国発明表彰
「発明賞」「未来創造発明賞」を受賞しました

■tokudai-staff information



救命と社会復帰 患者さんの生きる、をサポートします！

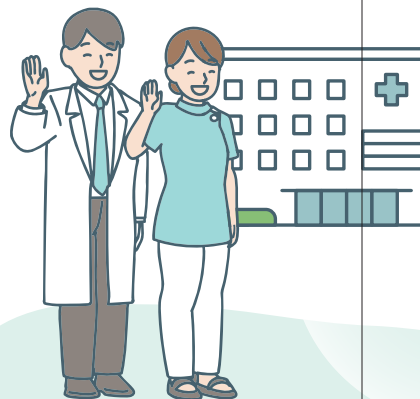
当院は集中治療室(ICU)10床、高度治療室(HCU)11床、脳卒中集中治療室(SCU)9床を有しています。今回は、他の機関では対応が難しい重症患者さんを受け入れている、救急集中治療科の大藤先生にお話を伺いました。

重症患者を支える“最後の砦”

救急集中治療科は院内外の重症患者さんを受け入れています。人工呼吸管理、循環補助、血液浄化などを駆使して様々な臓器不全の治療を行います。また、隣接する徳島県立中央病院と総合メディカルゾーンを通じて連携し、それぞれの専門性を生かした医療を提供することで患者さんの状態に応じた適切な治療へとつなげています。命を救う最前線であると同時に、「救命」と「社会復帰」の両立を目指し、患者さんご家族に寄り添いながら安心して治療を受けていただけるよう日々の診療に取り組んでいます。

集中治療

集中治療室では、多くの診療科の医師が協力し人工呼吸器による呼吸管理やECMO(体外式膜型人工肺)などの補助循環装置、持続式血液ろ過透析装置による血液浄化療法を駆使して重篤な全身状態にある患者さんの治療を行っています。侵襲の大きい手術後や化学療法の副作用などで重症化した患者さんにも対応し、診療科の枠を超えて幅広く全身管理を行っています。当院では重症患者さんを救命するだけでなく、治療を終えてもう一度ご家族のもとや職場へ戻り、人間らしい生活を送れるよう支援することが目標です。病状からの回復具合を見極め、少しずつ離床やリハビリテーションを行い治療に伴う合併症の予防や認知機能を回復させる取り組みも進めています。医療技術の進歩により平均寿命が延びる一方で、単なる延命にとどまらず退院後の生活の質(QOL)や機能予後の向上を重視した医療の重要性が高まっています。



■説明は
徳島大学病院
救急集中治療科
診療科長
大藤 純
(おおとう じゅん)

患者さんへひとこと

近年では集中治療の技術が進歩し、従来は救命が難しい重篤な患者さんが回復できる機会が多くなっています。一方で、患者さんやご家族が望む形で最善の医療を尽くすことが重要であることは言うまでもありません。当科では、重症患者さんの社会復帰までを念頭に、患者さんの生きる、を支援いたします。

社会復帰を見据えたチーム医療

当院集中治療室では、救急集中治療科の医師を中心に、主治医、看護師、理学療法士、薬剤師、栄養士、臨床工学技士など多職種が連携する“チーム医療”を実践しています。患者さん一人一人の状態について毎朝多職種でのカンファレンスを行い、それぞれの専門的な視点を持ち寄りながら、今後も患者さんにとってより良い治療方針を検討していきます。



集中治療室でリハビリを受ける様子

CLOSE UP!



ゲノム医療センター について

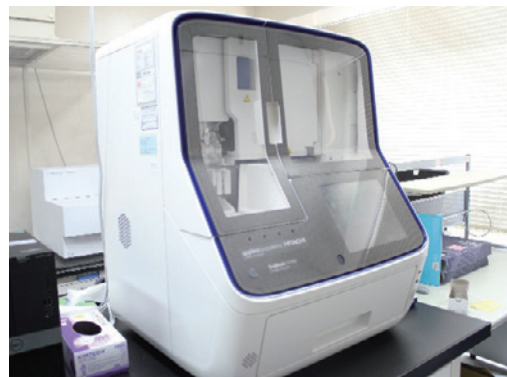
ゲノム医療センターでは、遺伝子・ゲノム情報をもとに診断や治療に役立つ情報を提供しています。今回はセンター長の森野先生をはじめ、ゲノム医療センターの皆さんにお話を伺いました。

● ゲノム医療センターとは

ゲノム医療センターでは、遺伝学的検査を希望される患者さんに対し、検査前の説明から結果の解釈まで一貫してサポートしています。遺伝学的検査では、主に難病や希少疾患、がんなど、遺伝性に関わる可能性のある病気について、原因や発症リスクを調べ、治療方針の検討に役立てています。また、今年度中には「次世代シーケンサー」という機器を導入し、院内でゲノム解析の一部を完結できる体制を整備していきます。多数の遺伝子を一度に解析できるようになるほか、その情報を基に月2回のカンファレンスを通じて院内の他診療科の医師とも連携しながら、より柔軟かつ迅速に対応できるようになります。

● 遺伝カウンセリングについて

遺伝カウンセリング部門では、専門医による遺伝カウンセリングを行っています。がん家系に関する相談や遺伝性疾患への不安、出生前・着床前遺伝学的検査のご相談に加え、遺伝性の関連が低いと考えられる疾



■説明は

徳島大学病院 ゲノム医療センターの皆さん

センター長 森野 豊之 (もりの ひろゆき) ※前列右から2番目

患についても幅広く対応しています。また、本院は未診断疾患の診断プロジェクト(IRUD)の拠点病院として、院内外からの相談を受け付ける窓口の役割も担っ

● 今後の取り組みについて

当センターは年間約500件のカウンセリングに対応しています。今後はさらにデータ管理部門の体制を強化し、県民のゲノムデータを蓄積・解析することで疾患傾向などを分析し、この地域の特性に合った治療法の研究を進めていきたいと考えています。

また、ゲノムや遺伝子は「難しそう」と感じられることもありますが、実際には身近な医療として活用が広がっています。不安や疑問を感じることもあると思いますので、気になることがあればどなたでもご相談ください。

患者さんへひとこと

ゲノム医療はすでに身近なものとなっており、将来的にはさらに多くの疾患で個々の体質に合わせた医療が可能になると期待されています。遺伝に関することでご心配なことがありましたら、ゲノム医療センターまでお気軽にご連絡ください。

【連絡先】 ゲノム医療センター(遺伝カウンセリング室)

電話：088-633-9218 FAX：088-633-9219

予約受付：平日9～17時 相談：平日9～17時

相談料金：6,000円(税込)(1時間)(※保険適応外：1時間を超えた場合は、30分ごとに1,800円が加算されます)

ています。これまでの検査では原因が分からなかった病気についても、ゲノム解析を活用して原因の解明を目指し、より総合的な診断につなげています。



遺伝カウンセリング室

徳大病院ニュース

徳島大学病院の最新情報をお届けします

TOKUDAI BYOUIN NEWS

令和8年度全国発明表彰「発明賞」「未来創造発明賞」を受賞しました

令和8年度全国発明表彰において、本学 佐々木雄太郎講師が「ロボット手術で血管テーピングを安全に行う器具の意匠」について〈第1表彰区分〉「発明賞」を、岡久稔也 元特任教授(現 四国中央病院 病院長)、曾我部正弘教授と株式会社タカトリとの共同研究グループが「難治性胸腹水の自動ろ過濃縮装置の発明」について〈第2表彰区分〉「未来創造発明賞」を受賞しました。全国発明表彰は、優れた発明や考案、意匠を表彰する歴史ある表彰制度であり、本学の研究成果が高く評価されたものです。今後も社会に貢献する研究活動のさらなる発展が期待されます。



徳島新聞 デジタル版

地域の話やできごと 国内外の重要ニュース

あなたの「知りたい」に、こたえる

単独ライトプラン 月額 980円



詳しくはこちら



tokudai-staff information

新任のごあいさつ



消化器・移植外科
診療科長
曾山 明彦
(そやま あきひこ)

本年3月1日付で、消化器・移植外科 診療科長に就任いたしました。

当科では、胃・小腸・大腸などの消化管、肝臓・胆道・膵臓など、食事の消化や栄養の吸収に関わる臓器の疾患を幅広く診療しています。いわば、「お腹の病気」を中心に扱う外科です。AIや各種デジタル技術が外科治療においても目覚ましい発展をみせていますが、「人と人のふれあい」を大切に、心のこもった医療を実践しながら、安全で最新の治療を提供してまいります。どうぞ安心して受診していただければと思います。



治験を実施しています

現在、開発中の医薬品あるいは医療機器、再生医療等製品の候補となるものを用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを収集、有効性や安全性を確認して厚生労働省から「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思いますので、お気軽にお問い合わせください。

- | | | |
|----------|---------------|-------------------|
| ● 肺がん | ● 統合失調症 | ● 温式自己免疫性溶血性貧血 |
| ● 大腸がん | ● 金属パネルアレルギー | ● 成人T細胞白血病・リンパ腫 |
| ● 尿路上皮がん | ● 原発性IgA腎症 | ● 不妊症 |
| ● 前立腺がん | ● 筋萎縮性側索硬化症 | ● 上肢痙攣 |
| ● 悪性リンパ腫 | ● 家族性認知症 | ● 全身性強皮症に伴う間質性肺疾患 |
| ● 多発性骨髄腫 | ● 心房細動および心房粗動 | |

ご協力
お願いします。

問合せ：
臨床研究推進部
tel.088-633-9294

予約変更、予約キャンセル、予約確認

●AI電話

Tel.050-1722-0148 (7:00～20:00 (休診日除く))

各相談室・検査の連絡先

●難病・てんかん・高次脳機能障害など医療福祉相談

Tel.088-633-9107 (8:30～17:00 (休診日除く))

●がん相談

Tel.088-633-9438 (8:30～17:00 (休診日除く))

●緩和ケア相談

Tel.088-633-7457 (8:30～17:00 (休診日除く))

●肝疾患相談

Tel.088-633-9002 (8:30～17:00 (休診日除く))

●脳卒中・心臓病等に関するご相談

Tel.088-618-0171 (8:30～17:00 (休診日除く))

●遺伝カウンセリング

Tel.088-633-9218 (9:00～17:00 (休診日除く))

●セカンドオピニオン

Tel.088-633-9654 (9:00～17:00 (休診日除く))

徳島大学病院へのご寄付

本院では、一層充実した医療を提供するために、寄付金というかたちで皆様のご厚志を生かしていきたいと考えています。皆様のご支援は、①病院設備・サービスの充実②診療環境の充実③医療スタッフの育成④地域医療への貢献のために充てさせていただきます。ご寄付をいただき心から感謝いたします。

●寄付者のご芳名 ご同意していただいた方に限り、ここにご芳名を掲載させていただきます。

※2026/2/1～2026/3/31時点(順不同)

山下 利幸様 佐條 秀明様 網木 哲夫様 TSUBASA Lab.様

●お申し込み状況 総件数：34件 総額：5,464,808円 ※2025/4/1～2026/3/31時点

●お申し込み方法 徳島大学病院のホームページでご覧いただけます。

来院中のお申し込みは、経理調達課経理・管理係または、

お近くの当院スタッフまでお申し出ください。

●お問い合わせ 経理調達課経理・管理係(月～金8:30～17:00) Tel / 088-633-7016

歩きスマホは大変危険ですので
ご注意ください。



徳島大学病院
Tokushima University Hospital



〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1

■ご意見・ご要望は下記までお寄せください
bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp



発行者
編集部長
広報委員会
委員

病院長 西良 浩一

石澤 啓介

川人 伸次 原田 雅史 後藤 正和 板東 美香

藤井 志朗 久保 亜貴子 大川 敏永 桐野 靖

武川 香織 戸崎 美鈴 兒玉 実和 斉藤 憲市

武政 康平 井田 陽子 藤原 慶一 田木 真和

事務担当

総務課広報・企画係 Tel.088-633-7697